

事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.26)No.	1086	(H.25)No.	1086
-----------	------	-----------	------

事務事業名	ごみゼロ・リサイクル推進事業		
担当部局名	担当室名	室長名	
生活環境部	環境対策室	藤野 泰司	

会計区分	事業コード	271501
一般会計	(中事業名)※予算書事業名	
款 衛生費	ごみゼロ・リサイクル推進事業	
項 清掃費	(小事業名)	
目 ごみ対策費	ごみゼロ・リサイクル推進事業	

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	2	美しい自然に包まれた、憩いと潤いのある暮らし
	基本政策	2	循環型社会の創造
	施策	2	ごみの減量化とリサイクル
	小施策	1	ごみの減量化
重点施策コード	4-1.資源循環型社会の構築(廃棄物の減量・資源化の推進)		

2. 事務事業の概要

事業目的(めざす効果)
環境と共生する資源循環型社会を目指し、ごみの減量化、資源化の促進に向けた啓発等を実施することにより、真のごみゼロ社会を構築する。
事業内容
<ul style="list-style-type: none"> ごみゼロ社会を目指すアクションプログラムに基づくごみの分別、減量化に向けた啓発の実施 ごみ分別ガイドブックの作成や外国人向け日程表の作成 紙おむつ専用ごみ袋の購入とボランティア専用ごみ袋の作成、配布 草木類のリサイクル事業の委託

3. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	H.25年度(事業量・取組実績)	H.26年度(事業量・取組計画)	H.27年度(事業計画)	H.28年度(事業計画)	H.29年度(事業計画)
主な事業の実績・計画	<ul style="list-style-type: none"> 外国語版日程表翻訳(年2回) 180千円 ごみの啓発品等購入(啓発物品、消耗品等) 279千円 紙おむつ専用袋購入(20L袋310,000枚) 7,870千円 ボランティア袋作成 95千円 ガイドブック印刷製本費(五十音順別冊4,000冊) 180千円 資源化機械修繕料 289千円(チャパー車・貸出用破砕機等) 3Rポスター応募報償 16千円(応募賞品はペンセット) 	<ul style="list-style-type: none"> 外国語日程表翻訳 214千円 ごみ減量啓発品等購入 126千円 紙おむつ専用袋購入(20L袋275,000枚) 6,050千円 ボランティア袋作成 107千円 ガイドブック印刷費 121千円 資源化機械修繕料 29千円 資源化備品購入 65千円 3Rポスター応募報償 22千円 作業傷害保険料 60千円 草木類リサイクル事業委託 3,160千円(草木類破砕資源化、チャパー車作業) 	<ul style="list-style-type: none"> ごみの分別啓発 外国語版日程表翻訳 紙おむつ専用袋等購入 ボランティア袋作成 資源化推進委託料 など 	<ul style="list-style-type: none"> ごみの分別啓発 外国語版日程表翻訳 紙おむつ専用袋等購入 ボランティア袋作成 資源化推進委託料 など 	<ul style="list-style-type: none"> ごみの分別啓発 外国語版日程表翻訳 紙おむつ専用袋等購入 ボランティア袋作成 資源化推進委託料 など

	H.25年度(決算見込)	H.26年度(作成時予算額)	H.27年度(計画予算)	H.28年度(計画予算)	H.29年度(計画予算)
①直接事業費	8,909千円	9,954千円	9,800千円	9,900千円	9,950千円
内訳(千円)					
国・県支出金	179	3,159			
地方債					
その他(手数料)	48				
一般財源	(0) 8,682	6,795	9,800	9,900	9,950
人工数					
職員	0.65人	0.85人	0.85人	0.85人	0.85人
臨時職員等	0.10人	0.12人	0.12人	0.12人	0.12人
②概算人件費	(0千円) 5,110千円	6,664千円	6,664千円	6,664千円	6,664千円
①+②総事業費	(0千円) 14,019千円	16,618千円	16,464千円	16,564千円	16,614千円

4. 担当室による事務事業の点検 (*点検等による成果向上や見直しが困難な事業(法令等による義務的経費、災害復旧等緊急事業など)は点検対象外)

考察(H.25年度の取組評価、課題)	今後の対応方針(課題解決への取組、工夫・改善の内容)
アクションプログラムに基づきごみの減量、資源化を進めた。平成25年10月より、指定ごみ袋の価格の約20%引下るにあたり、十分な啓発に努め、円滑な移行と引下げ後もごみの減量効果を継続することができた。また、平成26年1月30日から使用済小型家電のリサイクルを国のモデル事業を活用し、回収ボックスを16箇所に設置し開始した。	名張市の家庭ごみ排出量は、三重県内で最小レベルを維持しているが、指定ごみ袋の価格の引下げ後も減量効果が継続するように啓発し、燃やすごみに多く含まれる生ごみ、草木類の減量、資源化をさらに進める必要がある。ガイドブックの印刷は、不法投棄対策事業で活用した三重県海岸漂着物対策事業の10割補助を使用し工夫した。

点検項目	内容(施策達成への貢献内容、連携・協働の実践・検討内容)
(1) 事業内容や取組成果は、総合計画の施策達成に貢献しているか A(2つ以上の施策指標達成に貢献又は基本方針達成に特に貢献)	ごみの減量に成果を上げるとともに、学校、地域等に出向いて環境学習会等によるごみ減量化、資源化の啓発を行っている。
(2) 地域づくり組織、市民活動団体等との連携・協働は図れないか 実践している(※実践内容を記載→)	地域づくり組織、学校、市民活動団体とごみや環境の対策について連携を図っている。

5. 今後の方向性(担当室による内部評価)

【選択肢】 継続(改善)、継続(現行)、継続(拡大)、継続(縮小)、統合検討、休止検討、廃止検討、事業完了(予定含む)	継続(改善)
--	--------

具体的な見直し内容・検討内容、継続の理由 紙おむつ専用ごみ袋は、家庭ごみの有料化の激変緩和措置及びごみ減量施策よりも、現在では介護支援、子育て支援対策の要素が強く、配布場所のまちの保健室等の在庫管理、購入事務の効率、事業の目的の観点から所掌事務の見直しが必要である。
--

6. 事務事業の取組に関する主な市の計画

ごみゼロ社会を目指すアクションプログラム、快適環境プラン